

**情報入力シート<病院情報>**

<b>病院ロゴ</b>	 <p>「人」と「心」をモチーフにブルーは安心を、ピンクは温かさを グリーンは自然に囲まれた環境を表しています。</p>	
<b>病院名</b>	独立行政法人 国立病院機構 菊池病院	
<b>薬剤部科URL</b>	<a href="https://kikuchi.hosp.go.jp/">https://kikuchi.hosp.go.jp/</a>	
<b>キャッチコピー</b>	「この病院で最も大切なのは患者さんです」を基本理念とし、他部署との様々な連携を通して、薬剤師業務を学べる病院	
<b>学生へメッセージ</b>	当院は国が政策的に推進する必要のある高度先駆的な医療、国が担うべき医療いわゆる政策医療の中で、「精神及び重症心身障害」の専門医療施設として位置づけられています。また、精神科単科でありながら入院患者の疾患も様々であり、精神科領域だけではなく、他の領域にまたがり薬剤も使用されているため、精神科領域以外の疾患について学ぶ事も出来ます。また、小規模施設ならではの取り回しの良さと他部署との連携の良さは楽しく充実した仕事が出来るポイントです。	
<b>プロフィール</b>	<p>一般精神科医療の他、認知症疾患を含めた老年期精神障がいの医療、動く重症心身障がい児（者）の療育やライフサイクルの中の重要な時期である老年期と児童・思春期の精神障害の医療にも取り組んでおり、「精神及び重症心身障がい」の専門医療施設として位置づけられております。病床数は239床で救急医療についても2次救急施設として重要な役割を担っております。認知症治療病棟（60床）では、認知症に伴う認知機能障害（中核症状）と認知症に伴う行動・心理症状のため自宅や施設での生活が困難となった患者さんを、精神科一般病棟（60床）では、統合失調症や双極性障害、うつ病、妄想性障害等の一般精神の患者さんを、重症心身障がい者病棟（100床）では、自閉症や重度の知的障害、てんかん等で強度行動障害を持つかたを受け入れています。医療観察法病棟（19床）では、入院対象者の退院後の治療や生活の維持を保持するために、MDT（Multi-Disciplinary Team）と呼ばれる医師、看護師、作業療法士、心理療法士、MHSW等による多職種チーム医療を実施しています。</p> <p>薬剤科は精神科一般病棟での薬剤管理指導業務を中心に行っており、ICT、NSTといった多職種連携のチーム活動や院内勉強会の実施、医学部生への講義等少ない人数ながら積極的に院内活動を行いながら、心身共に健康をモットーに日々業務を行っています。</p>	
<b>連絡先</b>	096-248-2111（受付にて「薬剤科へ」とお伝えください）	
<b>アクセス</b>	JR豊肥本線三里木駅下車タクシー約10分 熊本空港よりタクシー約20分 熊本ICより車で約20分	
<b>診療科目</b>	内科、精神科、心療内科、小児科、リハビリテーション科、歯科	
<b>病床数</b>	239床	
<b>病院の特徴</b>	厚生労働省認知症高齢者対策研修施設（西日本地区対象） 日本老年精神医学会認定施設 熊本県認知症疾患医療センター 公益社団法人日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設 熊本大学医学部医学科臨床教育協力施設 熊本県災害拠点精神科病院指定	
<b>アピールポイント</b>	錠剤自動分包機の新型への更新と最新の散剤分包機の導入、電子カルテの導入（2024年9月）により、業務の効率化・職場の環境改善が図られています。	
<b>研修施設</b>	-	
<b>薬剤師数</b>	3名	
<b>薬剤師構成</b>	(男女比) 男性 2名 女性 1名	年齢構成 40代 2名 20代 1名
<b>認定資格・数</b>	日本臨床腫瘍学会外来がん治療認定薬剤師 1名、日本結核・非結核性抗酸菌症学会抗酸菌症エキスパート 1名、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 2名	
<b>臨床研究実績</b>	第76回国立病院総合医学会発表【精神科の成人重症心身障害者における低カルニチンのリスク因子の検討】	
<b>チーム医療活動</b>	感染制御チーム（ICT） 栄養サポートチーム（NST）	
<b>院内保育園（連携含）</b>	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	